



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 20

発行 令和2年8月28日
発行責任者 校長 菅野 靖



東西しらかわ中学校英語弁論大会に3人の生徒が参加

8月26日(水)に矢吹町文化センターにて、東西しらかわ中学校英語弁論大会が開催され、五箇中学校からは、暗唱の部に2年の遠藤紅葉さんと斎藤海咲さんが参加し、創作の部には3年生の柴原美玲さんが参加してきました。新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から、会場には発表校の関係者(保護者、教員、校長)しか入ることができず、他の中学校の弁論を観覧することができませんでした。3人の生徒の皆さんは、夏休み中も学校に登校して練習を行い、穂積先生とミーガン先生にご指導をいただき、英語の発音や思いを伝える表現力に磨きをかけていました。それぞれの生徒が、自分の課題としていたところを本番での発表で納得する表現ができていました。下記に、それぞれの生徒の弁論大会後の感想を記載します。



◆Endo Kureha さん

思ったよりステージに立ったら、緊張しませんでした。練習の時に発音やイントネーションを注意されましたが、本番ではその課題を改善し、発表することができました。また、昨年よりも感情を込めて発表でき、ノーマスでのスピーチだったので悔いはありません。本番での発表が一番「楽しい」と感じることができました。今回の発表はとても良い経験をしたと思うので、これからの英語の授業や来年の英語弁論大会に生かしたいです。

◆Saito Misaki さん

練習をする前は、まったく自信がなく不安でしたが、何度も練習をして覚えたおかげで、本番では満足がいく発表ができました。何度練習をしても上手に発音できない単語があり、悔しい思いをしましたが、美玲先輩や紅葉さん、そして、先生方が教えてくださり、練習を重ねるうちに納得できる発音ができるようになってきました。今回の英語弁論大会は、とても楽しく感じ、来年もできれば挑戦したいと思いました。穂積先生やミーガン先生、そして、応援してくださった皆さんに感謝です。

◆Shibahara Mirei

今回の英語弁論大会は、1, 2年生の時よりも良いスピーチができました。創作の部は初めてで自分で英作文をして、ジェスチャーを考えるなどとても大変でした。スピーチ中に英語でクイズを出すのは珍しく、審査員の先生方がクイズに参加してくれるか心配でした。しかし、会場で聴いていた審査員の先生方も保護者の方々も先生方もクイズに参加してくれて、笑顔でパフォーマンスをすることができました。本番は、自分が意識した発音の所が思ったように発音でき、練習の成果を出せたと思います。コロナで例年通りに発表できなくとも、英語弁論で人を笑顔にできたことが「英語弁論をやってよかった」「英語弁論は楽しかった」と心から思えました。今まで、ご指導ありがとうございました。

【柴原美玲さんのスピーチ】

柴原美玲さん、創作の部で優勝

東西しらかわの各中学校から創作の部に参加した17名の発表者の中で、3年の柴原美玲さんが見事、第1位になりました。美玲さんは、昨年度は2年生ながら暗唱の部で第2位に輝いており、今年は、念願通り、最高位の優勝を手にすることができました。本来であれば、東西しらかわの代表として県の英語弁論大会に出場するはずですが、今年度は新型コロナウイルスの影響で県大会が開催されないのがとても残念です。この3年間で培った英語力を益々磨いて、これからのグローバルな社会で活躍することを期待しています。



【第2回PTA奉仕作業】お世話になりました

8月22日(土)に、全校生徒と保護者の方々に、校舎の周辺の除草作業を行いました。柴原環境部長様を始め、保護者の方々、そして、生徒の皆さんありがとうございました。